



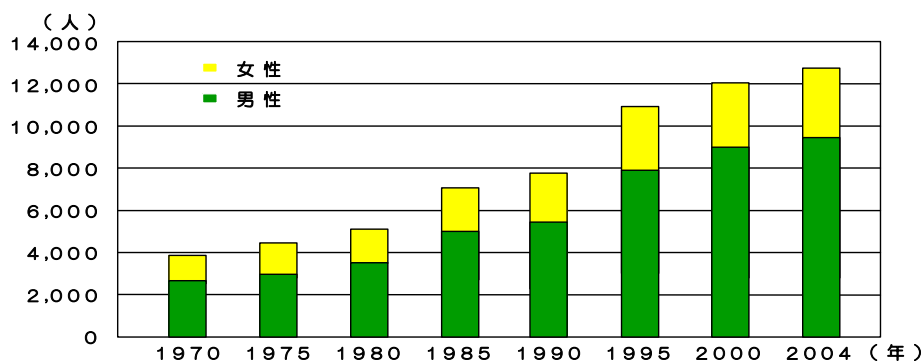
## 国立病院機構旭川医療センター COPDセンターのご案内

### ◆COPD（Chronic Obstructive Pulmonary Disease：慢性閉塞性肺疾患）とは

肺の生活習慣病であり肺気腫とか慢性気管支炎と診断されてきた病気の総称です。空気の通り道である気道や肺のなかの肺胞という小さな袋が炎症を起こすことによって肺機能が低下し、酸素を効率よく取り込めなくなる病気です。この病気の一番の原因はたばこでありその症状としては少し動いただけでも息切れを起こしたり、咳や痰が続いたりするのが特徴です。高齢化社会を迎えるにあたりこの COPD が急増し問題となるのです。

わが国において COPD の患者数は 600 万人近くいると推定され、COPD で亡くなる方は年々増加し（下図）、2020 年には虚血性心疾患、脳血管障害に次ぐ全世界の死亡原因の第 3 位となることが予想されます。COPD による症状は年のせい、たばこを吸っているからなどと思われ進行してから発見されることも少なくありません。その意味でも COPD は早期に発見し生活指導あるいは治療を受ける必要があるのです。

わが国における COPD による死亡数の推移



厚生労働省人口動態統計

以上の点より 1) COPD の予防と早期発見、2) 呼吸器における専門的な診断および治療、3) 呼吸リハビリテーションの普及、4) COPD に関する情報提供を目的として COPD センターを開設しました。

#### ◇COPD センターのスタッフ

呼吸器内科医師、循環器内科医師、呼吸器内科病棟看護師、外来看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師、治験管理室、企画課

#### ◇COPD の診断と呼吸機能検査

COPD を診断するには喫煙歴、職歴や症状などによってある程度可能ですが、胸部レントゲン写真や CT 画像により肺の構造変化を評価し、さらに呼吸機能検査を行い気道の閉塞性障害の有無を確認することによります。この呼吸機能検査が最終的に早期発見あるいは重症度を判定する上で重要であり患者さんに是非行っていただきたい検査なのです。

#### ◇呼吸リハビリテーション

COPD を代表とする慢性肺疾患において呼吸リハビリテーションの臨床的有効性はいまや確立され、その正しい普及が重要となっています。呼吸リハビリテーションは運動療法を中心として栄養指導、薬物療法、在宅酸素療法などで構成され、日常生活の質（Quality of life : QOL）の向上を目的としています。当院においても原則として 2 週間程度の入院をお願いして呼吸リハビリテーションを行っております。ご希望の方は主治医あるいは呼吸器内科担当医にご相談下さい。

#### ◇COPD における最新の治療

当院では肺の病気に対する薬剤の治験を多数行っております。その中で COPD の方を対象とした治験も現在進行中であり、今後も予定しています。この治験は呼吸器内科医師あるいは治験管理室の専門看護師、薬剤師が担当となっております。お願いすることもあるかと思いますがよろしくお願いたします。

#### ◇COPD に関する情報提供

当院では COPD 教室を開催し、病気のお話し、薬物の説明、栄養指導など幅広く情報提供を行っています。また、外来には COPD、禁煙に関するパンフレットや医療相談なども行っています。ご希望の方は主治医または事務受付にご相談下さい。



旭川医療センターの COPD センターは、COPD に対する予防、治療、呼吸リハビリテーションまで一貫したシステムをつくり上げ、みなさまに呼吸器内科として専門的な医療を提供したいと考えます。どうぞよろしくお願いたします。